

大和高田市立病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	股関節手術を受けた患者の早期離床に向けた看護職者への意識統一および視覚媒体を用いた情報共有による効果 ～リハビリカードを用いた整形外科病棟看護職者の離床ケアの統一 第二報～ (No. R5-25)
当院の研究責任者 (所属)	谷口 寛 (5階病棟)
他の研究機関および各施設の研究責任者	
本研究の目的	<p>手術後の早期離床は種々の合併症予防に非常に重要であり、また骨折された患者さまにおいては筋力や体力の低下予防や元の状態に回復するためにも、早期離床が非常に重要です。手術後はリハビリ時間以外にも、安全安楽に入院生活を送っていただくとともに、個々の状態に応じた離床ケアが必要となります。</p> <p>そのため、患者さまの状態に応じた離床ケアの支援を行うため、視覚媒体を用いて日々の状態を評価し、支援を行わせていただきたいと思います。視覚媒体は病室に掲示させていただき、スタッフ、患者さまが確認することができます。</p> <p>視覚媒体を用いて、状態に応じた離床ケアの支援を行うことで、日常生活が可能になるまでの日数に影響があるかを調査します。</p>
調査データ 該当期間	令和5年8月～令和5年10月
研究の方法 (使用する試料等)	<p>●対象となる患者さま 上記期間内に股関節手術（人工骨頭置換術および大腿骨近位部骨折により骨折観血的手術）を受けられる患者さま</p> <p>●利用する情報 電子カルテより在院日数、年齢、尿道留置カテーテル抜去までの日数、手術後車いす移乗までに要した日数、歩行補助具を使用した歩行訓練開始までの日数(平行棒内歩行を除く)、入院前のADLの情報を収集する。</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	なし
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は収集しません。視覚媒体の設置については任意であり、研究の途中で参加を取りやめることも可能です。視覚媒体設置の有無に関わらず入院生活や治療への影響はありません。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	担当者： 研究責任者と同様
備考	